

特集

JA全農福島 令和2年度

事業計画についてご紹介いたします。

1. JA全農福島 令和2年度事業計画について

JAグループにおける農畜産物の流通や農業生産に必要な資材の供給を担う「経済事業」施策の着実な実践を柱とし、JAの経済事業改革の実践、広域事業の一層の展開、直面する生産現場の課題解決等を通じて、生産基盤の維持・拡大に取り組みます。以下の項目を最重点取組事項とし、各部門で掲げる事業別重点施策を具現化していきます。

1. 生産基盤の維持・確立に向けた取り組み

- ▼農業労働力確保に向けた支援体制、仕組みづくり
- ▼担い手育成支援機能の強化
- ▼トータルコストの低減
- ▼JA未利用者の確保による事業拡大

2. 生産から消費までのバリューチェーンの構築に向けた事業領域の拡大

- ▼販売を起点とした生産提案・生産拡大
- ▼直接販売拡大
- ▼加工・業務用契約栽培の拡大
- ▼販売チャネルの多様化・拡大
- ▼持続可能な輸出事業

3. JAへの支援強化

- ▼購買品受発注および未払照合事務軽減のためのシステム開発支援
- ▼配送体制見直しによる物流合理化
- ▼JAへの人的支援の継続
- ▼インフラ整備によるJA機能の補完
- ▼営農経済事業の成長・効率化プログラム（見える化プログラム）への取り組み

4. GAP取組み

- ▼第三者認証取得および普及の支援
- ▼「2020東京オリ・パラ」への対応をはじめとする継続的な販路確保

5. 事業運営方式の方向性

- ▼農業機械事業、燃料事業、生活購買事業の方向性の提示と、運営方式を検討・提案

6. JAグループ福島としての取組み

- ▼本県農業生産基盤の復旧・復興の促進
- ▼風評払拭による「福島ブランド」の信頼回復と向上

7. 台風・大雨災害に係る支援対策

- ▼営農継続意欲喚起のために必要な支援対策の継続（災害対策特別要領の活用）

2. 事業別重点施策について

米穀事業（米穀部）

- ①実需者ニーズにもとづく作付提案・販売拡大など、生産提案型事業の拡大
- ②実需者直接販売と事前契約による安定的な取引の拡大



園芸事業（園芸部）

- ①「園芸王国ふくしま」確立のための生産振興対策（マーケットインと地域特性を活かした園芸生産振興プランの実践）
- ②「JA広域会津集出荷施設（会津野菜館・令和2年度計画）」、「菌床しいたけイノベーションセンター」稼働による生産者の労力軽減、青果物の品質向上、生産基盤の拡大
- ③「愛情福島」ブランド確立のための販売対策（市場販売の取組み強化、直販施設のインフラ整備・機能拡充等）



畜産事業（畜産部）

- ①「素牛導入・生産性向上技術・遊休畜舎活用」対策等の活用による畜産生産基盤の維持拡大
- ②生産基盤補完・先進モデル施設としての大規模畜産生産拠点の設置
- ③畜産GAP認証取得に向けた取り組み強化
- ④首都圏での販売拡大とブランド確立、県内実需者への販売拡大
- ⑤「福島牛焼肉店牛豊」「ジェラートカザロ」による地産地消活動



生産資材事業（生産資材部）

- ①肥料農薬事業の取組み（経済事業再構築に向けたJAに対する推進活動支援の強化と肥料専用パレットによる効率的な配送体制の確立など）
- ②農業機械事業の取組み（機能を絞った共同購入トラクター（大型）の普及拡大、次期共同購入トラクター（中型）の導入提案の実践など）
- ③施設建築事業の取組み（JA施設整備計画に対する支援および提案等、JAの補完機能の役割発揮）



燃料事業（燃料部）

- ①石油事業の取組み（JA-ISSの再配置や既存JA-ISSの見直しを図り、ネットワークSSを中心とした事業展開と「店創り人創り」の展開）
- ②ガス事業の取組み（顧客との接点強化）
- ③住関連エネルギーの総合提案の推進



営農企画（営農企画部）

- ①本県の実情に沿った労働力支援
- ②担い手訪問機能の強化（TACの人材育成など）
- ③第三者認証GAPの取得支援やGAP担当者の育成支援



消費地販売（消費地販売部）

- ①福島ブランドトータル販売の定着・拡大に向けた部門横断的な施策の強化
- ②県産農畜産物のブランドの確立（JA・県行政・関係機関と連携した販売推進、PR活動）
- ③多元的販売の実践、販売ルートの拡充
- ④GAP認証農畜産物の認知度向上と継続的な販路確保への取組み



管理部

- ①事業運営および経営管理の強化、ならびに経営基盤の強化
- ②インフラ整備を含めた経営資源の最適配置と有効活用
- ③内部統制管理の強化（コンプライアンス・ガバナンスの更なる徹底）
- ④TV等広報媒体を活用した県産農畜産物の地産地消と消費拡大対策への取組み



（単位：百万円、%）

	平成30年度実績	令和元年度計画	令和2年度計画	令和2年度計画	
				平成30年度実績比	令和元年度計画比
				A	B
米穀事業	20,057	22,890	24,832	124	108
畜産事業	25,132	23,829	24,636	98	103
園芸事業	41,200	40,500	41,111	100	102
生産資材事業	13,979	15,754	14,619	105	93
燃料事業	16,700	15,983	16,768	100	105
合計	117,069	118,959	121,967	104	103

※事業における総供給販売高での表記。金額は百万円未満を四捨五入

3. 令和2年度取組計画について